

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-38 成人保健事業 □支援部門						
主管課	市民健康課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	心身の健康の保持・増進を目的に、健康相談や健康教育を実施し、市民の健康に対する意識の向上を図り、自ら進んで行動変容ができる。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	3,033	3,089	3,113			
	(国・県)	314	343	443			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	2,719	2,746	2,670			
	人員配置数	3.3人	2.6人	2.6人			
	人件費(千円)	25,513	20,808	22,396			
	協働のパートナー	医師会・検診機関	医師会・検診機関	医師会・検診機関			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	28,546	23,897	25,509			
	市民1人当りの経費(円)	160	135	144			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団 体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
健康教育参加者数	△	目標値	220人	220人	220人	220人	220人
		実績値	1,091人	1,731人	2,980人	2,500人	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
成人保健事業	3,033	成人保健事業の一部	3,244	今後の方向性	A	理由・手法	若年期から、「自分のからだは自分で守る」という意識をもち、よりよい生活習慣を獲得できるよう、引き続き啓発をしていく必要がある。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	健診の受診率は、横ばいか微減傾向にある。事業者に協力を依頼するなどして、インセンティブを付加し、各健診の受診率を高めるとともに、健診結果を元に生活習慣の改善に取り組むよう、健康づくりに対する意識の高揚を図る必要がある。										
課題解決のための取組	平成25年度国保特定健診受診者全員に、こもれびプールの1回利用券などを配布し、約200名の利用があった。(鎌倉市国民健康保険特定健康診査受診率は、0.1%増加)胃がん検診の見直しを開始した。また、担当内の業務分担の見直しにより、成人期からの生活習慣病予防、健康づくり、介護予防と継続した視点で事業を実施していくことが可能となった。					取組の結果	□解決 ■未解決				
未解決の課題	受診率向上のための、各種健診(検診)の見直し、若年期から、より良い生活習慣を意識できるよう、関係機関の協力を得ながら引き続き地域のイベント等での啓発を継続するとともに、地区組織間での連携を図り、地域での健康づくりの機運を高めるための仕掛けを検討していく。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	様々な機会をとらえ、若いうちから自らの生活習慣の改善、健康づくりに対して、意識を高められるよう情報を提供するなど啓発活動を充実させていく。							A	➡	A	※□事業完了

評価者名 市民健康課長 磯崎 勇次

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
成人保健事業	市民の健康増進を図るため、健康教育や健康相談等を行った。				○	○	○	○	
	主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		105	非常勤嘱託栄養士報酬	2,506	2,506	○	○	○	○
		105	健康教育講師謝礼	50	45	○	○	○	○
		105	非常勤嘱託栄養士費用弁償	270	227	○	○	○	○
		105	健康手帳・文具等消耗品費	300	248	○	○	○	○
105	栄養士腸内細菌検査手数料	10	7	○	○	○	○		
105	骨密度測定業務委託料	84	0	△	△	△	△		
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
主な個別事業	タイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
※□	事業完了								